

令和2年度企画研修委員会の委員長を務めております 古平町立古平小学校の三浦 卓也でございます。

企画研修委員会は、各ブロックの代表1名と札幌市1名、そして、事務局役員4名の計10名での構成となっております。

平成28年度の「組織の在り方検討委員会」の最終報告書を受け、「企画研修委員会」として、道小の今後の組織の在り方、方向性に関して継続して審議を行ってきました。今年度は7月15日に1回目の会議を行いました。ZOOMを使ったWEB会議で行っております。本日、理事研修会終了後に第2回目の会議を行います。

第1回目に検討された内容を報告する前に、ここまでの経緯について少しご説明させていただきます。

道小の活動の根幹をなすものは、○要望活動と政策提言 ○職能向上に向けた活動の充実・改善 ○全国連合小学校長会との連携 です。

平成20年度から10年間で単置校、併置校合わせて237校が閉校となり、その分、会員数が減少し続けてきました。そのことにより10年前より、約930万円の収入減となり、従来活動を維持することが困難な状態となりました。そこで、平成28年度第5回理事研修会の場で「組織の在り方検討委員会」の最終報告が可決され、6年間でトータル1万円の会費値上げを行うことが決定されました。10年先を見据えた会費値上げと同時に、経費削減策として、会議の回数減や刊行物の縮減、事務局幹事の減員、総会代議員数の見直しなど、できることから着手しているところです。

平成30年度からは「企画研修委員会」が「組織の在り方検討委員会」の業務を引き継ぎ、Ⅰ：道小の組織の充実・向上を目指すための組織改革 Ⅱ：更なる会費の値上げをしないための創意工夫 を基本理念として、組織改革に向けた検討を重ねてきております。

それでは今年度第1回目の会議で検討された内容を報告いたします。それは、令和4年度に予定されている全連小の会費の値上げに対して、道小で更なる会費の値上げをしないための手立てをどうするかということです。

結論から申しますと、ZOOMによるWEB会議に取り組むことで、会場費や旅費を削減し、全連小の会費の値上げ分をねん出するということです。道小では総会・研修会や年間5回の理事研修会、全道会長研修会など全道各地から会同しての研修会がございます。会同が絶対に必要な会議やWEB会議で対応可能な会議などの精査を行い、WEB会議の可能性を探っております。今のところ2～3回程度の会議をWEB会議で行うことが可能ではないかと思われます。

これらによって全連小の値上げに対処できそうだという見通しが見えております。まだ正確な値上げ額が示されていないことや、令和4年度に全道の小学校数が何校になっているのか、正確な数字がつかめておりません。今後、全連小から情報を得たり、また理事の皆様にご協力をいただき各地区の小学校数を調べたりしながら、具体的な見通しをもてるよう努めてまいります。

ZOOMによるWEB研修会を令和4年度から始められるようなICT環境に果たして整うかどうか、不明ではありますが、今後のGIGAスクール構想による環境整備に期待し、併せて各地区から市町村教委へ、道小から道教委へと、WEB会議ができるよう働きかける

ことも必要と考えます。WEBで全道がつながることは、会合しなくても、全道の校長会がつながるということです。これまで以上に道小の組織が強化されることとなります。

本日の第2回目の会議では札幌地区からの意見書や他地区の現状などを中心に話し合いを行います。

なお、先ほども申しましたが、各地区校長会に属する小学校数の調査をお願いしたいと考えております。9月になりましたら、事務局より理事の皆様にご依頼させていただきます。令和3年度、4年度の正確な学校数とその後3年間の大まかな学校数の調査をお願いしたいのでございます。どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。